

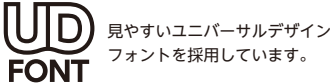
株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
定時株主総会	6月	同 連 絡 先	東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711（通話料無料） （郵送先）〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行 証券代行部
基準日	定時株主総会… 3月31日 期末配当……… 3月31日 中間配当……… 9月30日	特 別 口 座 の 口 座 管 理 機 関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
公告方法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 [公告掲載ウェブサイトアドレス] https://www.seiko-co.com/	同 連 絡 先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031（通話料無料）
単元株式数	100株		

- **住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について**
株主さまの口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行にお申し出ください。
- **未払配当金の支払いについて**
株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行にお申し出ください。
- **「配当金計算書」について**
配当金支払いの際に送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。

●ホームページのご案内●

最新のIR情報につきましては、
当社のホームページ「IR情報」を
ご参照ください。
<https://www.seiko-co.com/>



証券コード：6286

第121期
株主通信
2022年4月1日 ▶ 2023年3月31日

あなたのそばに 静甲グループ

毎日の暮らしからものづくりの現場まで、あなたとつながる静甲です



INDEX

静甲グループの事業領域	02
ごあいさつ	03
財務ハイライト	04
事業別の概況	05

連結財務諸表	07
トピックス	09
会社概要／株式の状況	10

静甲グループの事業領域

Business Area

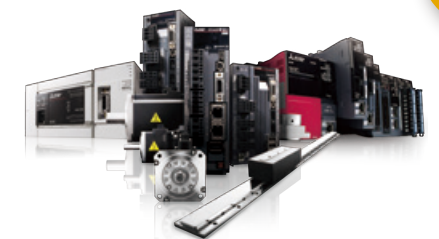
産業機械事業

包装機械等の製造販売、修理・改造



電機機器事業

FA機器・空調機器・冷凍機器等電機機器の販売及び空調設備設置工事



不動産等賃貸事業

駐車場経営及び貸自動車事業等

冷間鍛造事業

冷間鍛造製品の製造販売



車両関係事業

車両及びその関連商品の販売



グループ会社

- 日本機械商事株式会社（連結子会社）
包装機械の販売
- 静岡スバル自動車株式会社（連結子会社）
スバル車の販売・修理
- 株式会社エコノス・ジャパン（連結子会社）
殺菌装置、食品加工機械等の製造販売
- 静岡自動車株式会社（連結子会社）
車両レンタル・リース業、ガレージ業
- 株式会社共和テック（連結子会社）
一般産業機械の設計・製作、受託設計
- 静岡バイオート株式会社（連結子会社）
ボルボ車の販売・修理
- 株式会社PUREST（連結子会社）
ボルシェ車の販売・修理
- 株式会社Cool the Earth（連結子会社）
BYD車の販売・修理
- 株式会社ビルメンテ
- エススタッフサービス株式会社
- 有限会社清水久米タイヤサービス

株主の皆さまには平素より格別のご高配を賜りありがたく厚くお礼申しあげます。
さて、当社第121期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）の株主通信をお届けするにあたり、ごあいさつ申しあげます。

当期の業績について

当連結会計年度におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症に対する各種規制が緩和されたことで、経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな持ち直しの動きが見られております。一方、世界的な金融引き締め、エネルギー資源や原材料価格の高騰などにより、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経済環境のなか、当社グループにおきましては、「技術力のある営業集団、営業力のある技術集団」を目指しております。当連結会計年度の当社グループの売上高は、産業機械事業、電機機器事業及び車両関係事業は前年同期の実績を上回りました。一方、冷間鍛造事業は主要納入先の在庫調整などの影響を受け、前年同期の実績を下回りました。

これらの結果、売上高は、前年同期比10.0%増の345億3千5百万円となりました。

利益面では、冷間鍛造事業の減収に加え、原材料及びエネルギーコストの上昇もあり、経常利益は前年同期比2.9%減の6億7千5百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前年同期比55.9%減の3億3千1百万円となりました。

今後の見通しについて

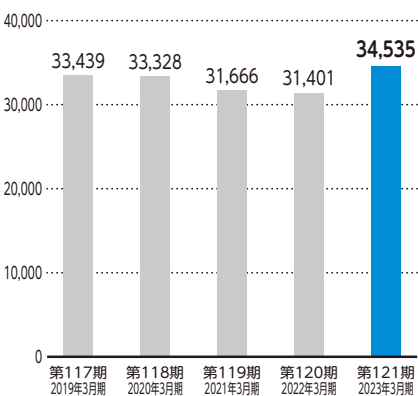
当社グループの次期の見通しにつきましては、産業機械事業では、小型・中型機は堅調に推移する見込みですが、大型の液体充填ラインの売上が少ないため、当連結会計年度の実績を下回る見込みであります。電機機器事業では、主力のF A 関連機器で自動車関連企業での電気自動車に関連した設備投資が好調なため、売上は当連結会計年度の実績を上回る見込みであります。また、冷熱機器、設備機器、空調設備工事も堅調に推移する見込みであります。これらの結果、電機機器事業全体では当連結会計年度の実績を上回る見込みであります。冷間鍛造事業では、主力の電動工具部品は主要納入先向け製品の増産が期待されるほか、自動車部品も当連結会計年度の実績を上回る見込みであります。一方、産業機械部品は主要納入先向け製品の減産により、当連結会計年度の実績を下回る見込みであります。これらの結果、冷間鍛造事業全体では当連結会計年度並みの実績となる見込みであります。車両関係事業では、当連結会計年度に投入した新型車の販売が堅調に推移することが見込まれること、さらに主力車種の新型モデルが発売されたことから、登録車の販売台数が増加することが期待されるため、売上は当連結会計年度の実績を上回る見込みであります。以上によりまして、2024年3月期における当社グループの売上高は350億円、営業利益は2億5千万円、経常利益は3億5千万円、親会社株主に帰属する当期純利益は1億5千万円となる見通しであります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2023年6月

取締役社長 鈴木恵子

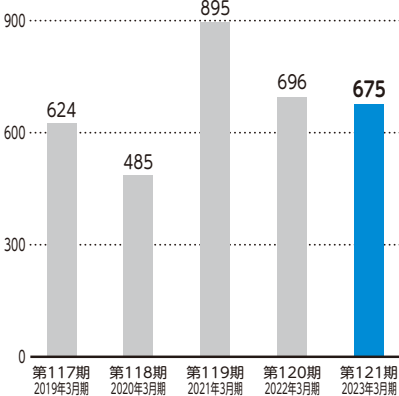
■売上高（単位：百万円）



34,535百万円

(前期比10.0%増)

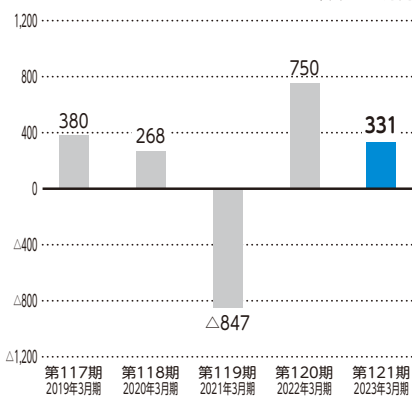
■経常利益（単位：百万円）



675百万円

(前期比2.9%減)

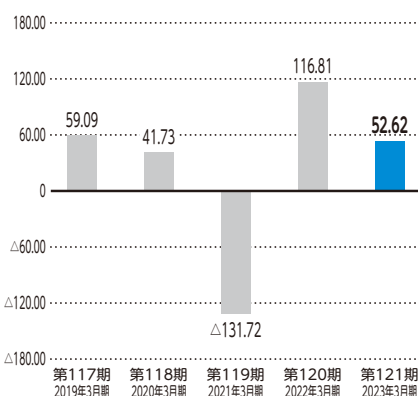
■親会社株主に帰属する当期純利益（単位：百万円）



331百万円

(前期比55.9%減)

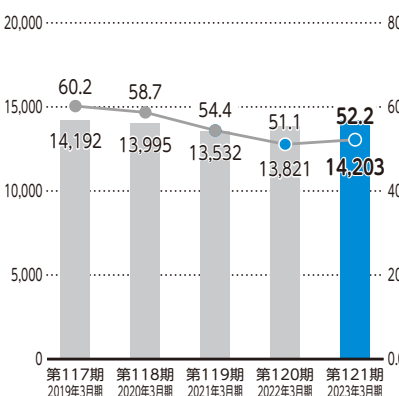
■1株当たり当期純利益（単位：円）



52.62円

(前期116.81円)

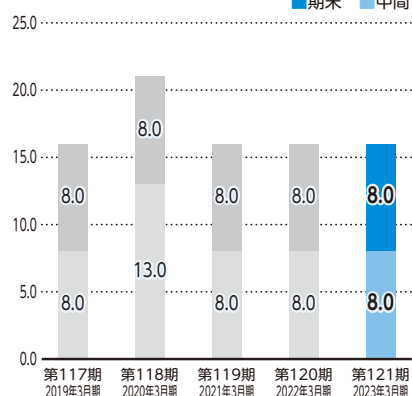
■純資産/自己資本比率（単位：百万円/%）



14,203百万円/52.2%

(前期13,821百万円/51.1%)

■1株当たり配当金（単位：円）



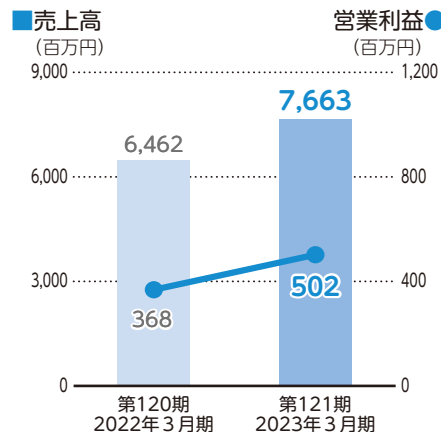
16.0円

(前期16.0円)

産業機械事業

売上高
7,663百万円
(前期比18.6%増)

営業利益
502百万円
(前期比36.4%増)



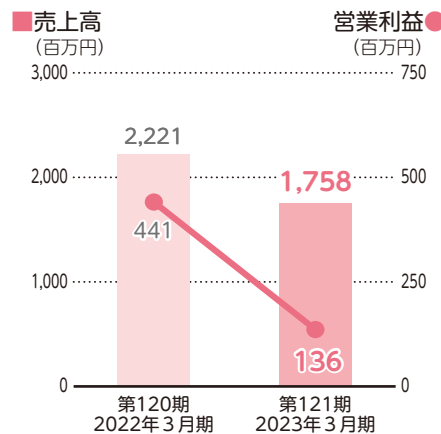
概況

包装機械は、前年同期と比較してアルコール製剤等の医薬品業界、食品業界向けの大型の液体充填ラインの売上が増加したため、前年同期の実績を上回りました。さらに小型・中型機や部品販売、保守メンテナンスも堅調に推移しました。

冷間鍛造事業

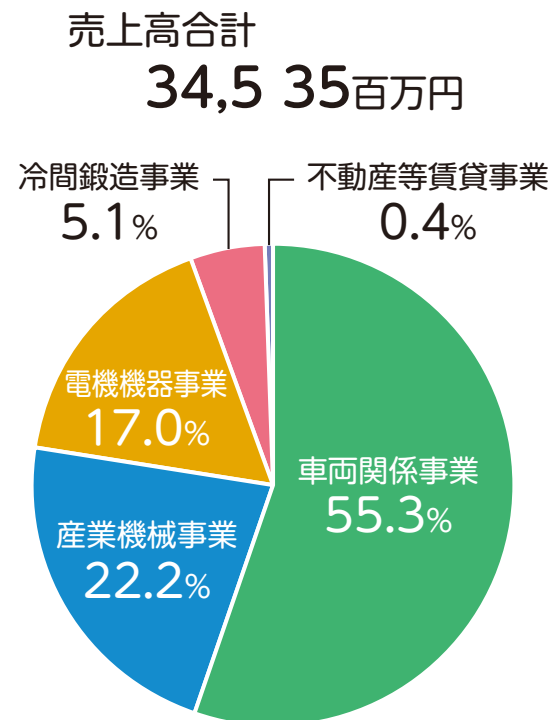
売上高
1,758百万円
(前期比20.8%減)

営業利益
136百万円
(前期比69.1%減)



概況

電動工具部品は、期前半から続く主要納入先の在庫調整により受注が低調に推移したため、前年同期の実績を大きく下回りました。また自動車部品においても半導体不足の影響を受け、前年同期の実績を下回りました。産業機械部品は主要納入先の製品増産に伴う受注が堅調に推移し、前年同期の実績を上回りましたが、電動工具部品及び自動車部品の落ち込みをカバーするには至りませんでした。

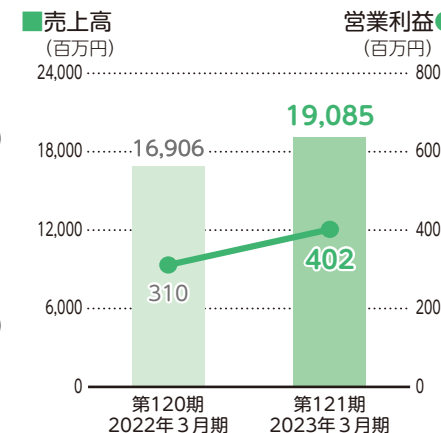


売上高合計
34,535百万円

車両関係事業

売上高
19,085百万円
(前期比12.9%増)

営業利益
402百万円
(前期比29.6%増)



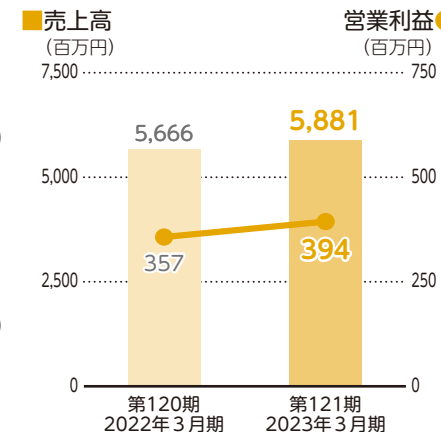
概況

新車販売は、フォレスター、インプレッサ、レヴォーグなどの主力車種が好調に推移し、前年同期の実績を上回りました。中古車販売は、市場の高止まりの影響もあり前年同期の実績を上回りました。サービス部門は、総在庫台数は減少したものの、提案力の向上により1台当たりの売上単価が増加し、前年同期の実績を上回りました。輸入車販売も堅調に推移し、前年同期の実績を上回りました。

電機機器事業

売上高
5,881百万円
(前期比3.8%増)

営業利益
394百万円
(前期比10.2%増)



概況

主力のF A関連機器は、世界的な半導体不足やメーカーの納期遅延及び値上げなどの影響を大きく受けました。しかし、第2四半期連結会計期間以降納期が回復基調にあり、期前半の納期遅延による落ち込みをカバーし、前年同期並みの実績となりました。設備機器は前年同期のような大型工事事案件が少なかったため、前年同期の実績を下回りました。一方、空調周辺部材は商圏拡大が進んだため、前年同期の実績を上回りました。また冷熱機器は工事事案件が堅調に推移したため、前年同期の実績を上回りました。

不動産等賃貸事業

売上高
146百万円 (前期比1.1%増)

営業利益
70百万円 (前期比34.0%増)

連結貸借対照表

	当 期 2023年3月31日現在	前 期 2022年3月31日現在
資産の部		
流動資産	16,711,707	16,622,298
現金及び預金	8,257,068	7,559,922
受取手形、売掛金及び契約資産	4,075,325	5,107,298
電子記録債権	592,845	848,208
たな卸資産	3,164,269	2,567,082
その他	677,677	591,413
貸倒引当金	△ 55,481	△ 51,627
固定資産	10,487,574	10,423,430
有形固定資産	7,867,071	7,786,265
建物及び構築物	3,332,784	3,365,733
土地	3,043,980	3,043,980
その他	1,490,307	1,376,551
無形固定資産	268,913	323,913
投資その他の資産	2,351,589	2,313,250
投資有価証券	1,993,757	1,959,089
その他	365,754	363,090
貸倒引当金	△ 7,924	△ 8,929
資産合計	27,199,281	27,045,729

	(単位：千円)	
	当 期 2023年3月31日現在	前 期 2022年3月31日現在
負債の部		
流動負債	10,617,574	11,781,183
支払手形及び買掛金	3,581,616	4,237,535
その他	7,035,958	7,543,648
固定負債	2,378,185	1,442,624
負債合計	12,995,759	13,223,808
純資産の部		
株主資本	13,422,604	13,080,906
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,159,341	3,151,288
利益剰余金	10,168,983	9,938,372
自己株式	△ 5,720	△ 108,754
その他の包括利益累計額	780,917	741,013
その他有価証券評価差額金	780,917	741,013
純資産合計	14,203,521	13,821,920
負債及び純資産合計	27,199,281	27,045,729

連結損益計算書

	(単位：千円)	
	当 期 2022年4月 1日～ 2023年3月31日	前 期 2021年4月 1日～ 2022年3月31日
売上高	34,535,011	31,401,491
売上原価	27,473,069	24,634,458
販売費及び一般管理費	6,513,477	6,207,518
営業利益	548,463	559,513
営業外収益	154,072	162,568
営業外費用	26,774	25,880
経常利益	675,761	696,202
特別利益	127,642	348,947
特別損失	186,950	56,302
税金等調整前当期純利益	616,453	988,846
法人税、住民税及び事業税	318,301	232,202
法人税等調整額	△ 33,190	5,801
当期純利益	331,342	750,843
親会社株主に帰属する当期純利益	331,342	750,843

連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	当 期 2022年4月 1日～ 2023年3月31日	前 期 2021年4月 1日～ 2022年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	790,452	1,746,461
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,214,171	△ 889,088
財務活動による キャッシュ・フロー	1,164,265	310,621
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	740,546	1,167,994
現金及び現金同等物の 期首残高	7,516,521	6,348,526
現金及び現金同等物の 期末残高	8,257,068	7,516,521

●ホームページのご案内●

最新のIR情報につきましては、当社のホームページ「IR情報」をご参照ください。

<https://www.seiko-co.com/>



電気自動車メーカーBYD車の取り扱いスタート

2023年2月1日に静岡スバル自動車株式会社の子会社として「株式会社Cool the Earth（クールジース）」を設立し、電気自動車メーカーBYDの日本法人であるBYD Auto Japan株式会社と正規ディーラー契約を締結しました。Cool the Earthの会社名は、BYDがブランドビジョンとして掲げる「Cool the Earth by 1℃」、都市公共交通機関を電動化することで世界の温室効果ガス排出量を削減する取り組みに賛同したことに由来しています。

2023年4月28日よりBYDの第一弾モデル、ミドルサイズe-SUV「BYD ATTO3」の試乗商談をBYD AUTO 静岡（開業準備室）にて完全予約制でスタートしました。また、2023年中頃よりコンパクトタイプの「DOLPHIN（ドルフィン）」、2023年末にはセダンタイプの「SEAL（シール）」を発売予定です。「青い地球を次世代へ」をパーパスに、ライフパートナーとして静岡県内のお客さまの暮らしや考え方に寄り添い、環境に負荷をかけない「eモビリティを、みんなのものに。」する活動を推進してまいります。



会社概要

(2023年3月31日現在)

社 名	静甲株式会社 (SEIKO CORPORATION)
本社所在地	静岡県静岡市清水区天神二丁目8番1号
設 立	1939年（昭和14年）5月18日
資 本 金	1億円
従 業 員 数	411名

役員

(2023年6月28日現在)

代表取締役 取締役社長	鈴木 恵子
代表取締役 専務取締役	鈴木 武夫
取 締 役	大石 透
取 締 役	鈴木 康之
取 締 役	山下 一弘
取 締 役	吉川 範幸
取 締 役	鈴木 浩之
取 締 役	鈴木 孝典
取 締 役	湯子 直樹
社外取締役	小林 和仁
常勤監査役	櫻井 嘉夫
社外監査役	戸塚 伸久
社外監査役	大津 善敬
社外監査役	山口 貴史

株式の状況

(2023年3月31日現在)

発行可能株式総数	19,200,000株
発行済株式総数	6,473,457株 (自己株式9,866株を除く)
株 主 数	1,044名

大株主（上位10名）

株 主 名	持株数 (株)	持株比率 (%)
鈴与ホールディングス株式会社	1,832,260	28.30
鈴木 恵子	926,370	14.31
有限会社ティ・エム・ケイ	617,600	9.54
静甲従業員持株会	398,750	6.16
株式会社静岡銀行	311,500	4.81
株式会社清水銀行	309,290	4.78
清水食品株式会社	204,000	3.15
鈴与自動車運送株式会社	104,000	1.61
清水運送株式会社	80,000	1.24
中島 和信	77,600	1.20

(注) 持株比率は自己株式（9,866株）を控除して計算しております。